

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	平成 26 年度第 2 回懇話会
開 催 日 時	平成 26 年 8 月 19 日（火） 14 : 00～15 : 50
開 催 場 所	一宮市消防本部 3 階 大会議室
出席委員氏名	岩田委員、川島委員、佐々木委員、渋谷委員、瀧委員、服部委員、古田委員、藤浦委員、前野委員、松村委員、森委員、横井委員 計 12 名
欠席委員氏名	岡西委員、野村委員、日置委員、 計 3 名
出席した市職員	事務局 企画部長、企画部次長、企画政策課長、同副主監 1 名、同主査 2 名、同主任 1 名、保育課副主監、子育て支援課副主監、子育て支援課主査、学校教育課副主監、生涯学習課副主監、働く婦人の家館長、経済振興課副主監 計 14 名
会 議 事 項	1. 市民憲章唱和 2. あいさつ 3. 議題 第 2 次一宮市男女共同参画計画中間見直し(案)
会 議 内 容	
事務局（課長）	（資料の確認）
企画部次長	<u>市民憲章唱和</u> （市民憲章唱和）
事務局（課長）	（ICPO 通信紹介）
佐々木会長 事務局（部長）	<u>あいさつ</u> ＜佐々木会長あいさつ＞ ＜企画部長あいさつ＞
事務局（課長）	次第 3 に移り、議題に入らせていただきます。ここからの進行は佐々木会長にお願いしたいと存じますが、配布資料の修正がありますので、事務局より説明させていただきます。
事務局（副主監）	＜ 事務局 修正説明 ＞
佐々木会長	議題 3 「第 2 次一宮市男女共同参画計画 中間見直し(案) について」に入らせていただきます。資料の説明は、前回の懇話会でありましたので、ご意見を伺いたいと思います。

	<p>第1章・第2章については訂正すべきところがないと思いますので、このまま進めさせていただきます。9ページの第3章から入りまして、いくつか区切って進めていきたいと思います。</p> <p>ページ数が多いので、順次進めさせていただきますので、ご意見等がございましたらお願いします。</p>
松村委員	<p>10ページにあります、一宮市の人口ですが、最新の人口ではなく平成22年の人口が記載されている理由は为什么呢。</p>
事務局(副主監)	<p>この計画では、国勢調査の人口を記載しております。</p>
松村委員	<p>「人口が今後は減少に転じると予測される」とありますが、一宮市においては人口が増加しているようにと思いますが、どのような減少の予測をしているのでしょうか。</p>
事務局(副主監)	<p>10ページに記載されております国勢調査の人口推移で見ますと、記載のとおり人口は伸びている状況になってはいますが、今後、平成27年の国勢調査では、平成22年に比べますと人口が増えるか減るか微妙なところではあります。平成32年になりますと、約4,000人ほど減少すると予測を立てております。</p>
佐々木会長	<p>そのほか、ご意見等がありましたらお願いします。</p>
事務局(副主監)	<p>16ページについて、事務局より1点説明を申し上げます。</p> <p>第1回懇話会で日置委員よりご指摘いただいた件につきまして、説明させていただきます。</p> <p>本文1行目後半から2行目にかけて、「女性は60歳以上を除いた年代すべてにおいて、反対が賛成を上回っています。」とありますが、グラフをみると20歳代女性も賛成が上回っているとご指摘をいただきました。ご指摘のとおりでございますので、その点を含め本文を修正させていただきたいと考えております。</p>
佐々木会長	<p>この修正は、パブリックコメントの前に修正しますか。</p>
事務局(副主監)	<p>この修正を含めた計画案でパブリックコメントを行います。</p>
松村委員	<p>15ページに関して、若い人の中には、妻は子育て、教育に専念したほうがいいというアンケート結果もあり、女性が社会進出することによって、子どもの教育にとって大きなプラスになっていくのか疑問</p>

<p>岩田委員</p>	<p>に思う若者が多いのではないかと思います。</p> <p>18ページの、学校教育の場での地位の平等感についてですが、平等感の高さが特徴的ですが、なにか環境的なことなのか、施策がうまくいっているのか、平等感が高くなっている要素がなにかわかっていたら、ポイントとして掲載していくと良いと思います。このような結果になっている要素として、なにかわかっていきますでしょうか。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>学校の中で、男女の差なく教育を受けているというイメージが定着しているため、こういう結果になったのではないかと考えています。</p> <p>教育現場では、平等と考える方が非常に多く、社会に出る前にかなり解消されているという認識をみなさんお持ちなのではないかと分析しています。</p>
<p>岩田委員</p>	<p>学校の職場で働いている方の実態というよりは、イメージが先行しているのでしょうか。</p> <p>学校関係者の方に、実態とイメージが近いのか教えていただきたいです。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>学校現場では、男女平等ということで、男女ともに、ひとりの子として同じような扱いをしているというイメージです。</p>
<p>岩田委員</p>	<p>職場で働いている人ではなく生徒ですか。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>そうです。</p>
<p>佐々木会長</p>	<p>そのほか、ご意見ありますでしょうか。</p>
<p>事務局（副主監）</p>	<p>19ページについて、事務局より報告を申し上げます。</p> <p>第1回懇話会で渋谷委員より男女混合名簿の使用学校数が半減した理由についてご質問をいただきました。</p> <p>学校現場では、男女混合名簿を使用しておりますが、健康診断のように男女混合名簿では不都合が生じる場合もあり、名簿を使い分け、併用しているのが現状であるため、男女混合名簿を使用する学校が減少してきているということでございます。</p>
<p>事務局（副主監）</p>	<p>21ページについて、事務局より報告を申し上げます。</p> <p>第1回懇話会で松村委員より、一宮市職員における女性管理職の推移が横ばいであることに対し、一般の事業所等に浸透するためには市</p>

	<p>が先頭に立って努力すべきとのご意見をいただきました。</p>
松村委員	<p>27ページのポイントに、「男女共同参画意識の必要性を啓発していく」とありますが、具体的にはどういった啓発をしていくのでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>啓発につきましては、男女共同参画推進セミナーの開催や男女共同参画情報紙「いーぶん」によって、家事分担を含め男女共同参画を啓発していきたいと考えております。</p>
松村委員	<p>ちょっとしたことで意識が変わるので、男性を持ち上げるような啓発も必要だと思いたいますがいかがでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>参考とさせていただきます。</p>
佐々木会長	<p>家事分担の問題ですから、ポイントのところに追記したほうが良いと思います。「ともに協力しながら」を「ともに家事を分担しながら」ではどうでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>検討させていただきます。</p>
藤浦委員	<p>31ページですが、見直し前にはポイントの記載がありますが、見直し後は省かれてしまうと理解すれば良いですか。</p>
事務局（五藤）	<p>見直し前のページのポイントの内容はグラフの状況説明となっておりましたので、見直し後では省かせていただきました。</p>
佐々木会長	<p>35ページの本文についてですが、保育所の状況で、入所児童数が減少しているのに、保育士数が増加していることについて、理由を記載しなくていいでしょうか。記載したほうが市民の方にもわかりやすいと思います。</p>
事務局（副主監）	<p>検討し修正させていただきます。</p>
松村委員	<p>36ページの一時保育の状況についてですが、私立保育所が1か所減ったのはどうしてでしょうか。</p>
保育課	<p>乳児保育が増えてきたため、乳児の定員を増やしたことで、一時保育を実施する園が減ったのではないかと考えられます。</p>

松村委員	<p>私立保育所での一時保育が減少するということは与える影響が大きいと思います。良い施策ですので、原因等を分析し支援していただきたいと思います。</p>
保育課	<p>検討させていただきます。</p>
佐々木会長	<p>36ページの「一時保育」という用語が一般市民の方にわかりますでしょうか？</p>
保育課	<p>ご案内はしております。</p>
佐々木会長	<p>一時保育をわかりやすく表記したほうがいいと思います。</p>
横井委員	<p>37・38ページについて、このページは文字が小さいので、他のページと同様に見やすく、文字を大きくしていただきたいと思います。</p>
事務局（副主監）	<p>調整させていただきます。</p> <p>37・38ページにつきしては、変更なしと記載させていただいておりますが、平成21年に国が調査を行いました、その後調査を行っていないことと、同じような内容の調査を探しましたが、愛知県でも行っていないため、今回変更なしとさせていただきます。</p>
佐々木会長	<p>39ページにある、女性の骨検診ですが、「骨検診」という表現でいいですか？</p>
事務局（副主監）	<p>平成26年度も骨検診という名称で実施しております。</p>
渋谷委員	<p>40ページの本文1行目に、平成23年度以降DVに関する相談件数が急激に増加とありますが、相談の場所や時間が増えたからなのか、理由を教えてください。</p>
子育て支援課	<p>平成22年度までは県から派遣された相談員で、平成23年度からは市で雇用した相談員に変わり、相談日数が増えたため、件数が変わりました。</p>
渋谷委員	<p>急激に増えたことで誤解を与えるといけないので、そういう状況を本文に加えていただけたらと思います。</p>

松村委員	40ページにあります、配偶者からの被害経験で、男性が18.3%と前回よりも増えていますが、女性の暴力が増えているということでしょうか。
子育て支援課	この18.3%は国が調査した結果の数字になります。 一宮市としては女性相談の中でDVの相談を受けています。相談は、圧倒的に女性からの相談で、男性からは年1件あるか、ないかです。 増えたことで女性が暴力的になってきたかどうかは、わかりかねます。
松村委員	相談した結果について参考に教えてください。
子育て支援課	市として、被害者からのDV相談をうけるときは、被害者の女性からの一方的な話で相談を受けます。それを聞いて、加害者に接触や説得をすることは市では行いません。そういったことは警察が行っており、市としては避難する支援を行っています。
松村委員	相談を受けるだけで終わるのですか。
子育て支援課	相談を受けて、警察などにつなげることを行っています。市として支援できることなどを助言しています。
松村委員	解決まで対応できるシステムの構築はできないのでしょうか。 警察や他の行政機関と連携して解決に向けての道をつくるべきだと思います。
子育て支援課	DV防止法に基づき、市としてできることを行っています。
佐々木会長	42ページの4行目「女性のほうが」とありますが、他のページは「女性の方が」で、漢字が使っていますので、統一してください。
事務局(副主監)	全体的に確認し、統一させていただきます。
渋谷委員	56ページですが、「平成21年の市民意識調査よりも低くなっています。国民を対象とした同種の調査と比較しても若干低く、固定的な性別役割分担を肯定している割合が低くなっています。」の記載について、固定的な性別役割分担を肯定している割合の件は、15ページの関連で日置委員からも意見がありましたが、昨今の労働状況について加えなくていいでしょうか。

	<p>肯定している人は少なくなっているという表現でしょうか。 20歳代は肯定的に戻っていますが、そのことについては記載しなくていいでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>56ページにつきましては、全体像のことを記載させていただいておりますが、15ページの関連もありますので、あわせて検討させていただきます。</p>
佐々木会長	<p>15ページ・65ページについては、もう一度精査していただきたいと思います。</p>
佐々木会長	<p>61ページの目標値は修正してありますか。</p>
事務局（副主監）	<p>61ページの目標値につきましては、平成26年度の現状値をみまして、目標を達成できる見込み、達成しているものについて、修正しております。</p>
佐々木会長	<p>62ページで、上の枠内の3行目にあります「女性の参画」を「女性の参画・登用」にしたほうが良いと思います。</p>
事務局（副主監）	<p>検討させていただきます。</p>
佐々木会長	<p>66ページにある目標値について、目標を達成しているので目標値を上げたのでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>目標に近い数値となりましたので、上げさせていただきました。</p>
佐々木会長	<p>69ページの上の枠内の2行目ですが、「男性に強く残っている」は「男性に根強く残っている」ではないでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>検討させていただきます。</p>
佐々木会長	<p>75ページの新規事業は新規ですか。</p>
事務局（副主監）	<p>乳児保育は従前から行っておりますが、市の施策として大きく取り組んでいる事業でもありますし、今回計画に新たに記載するということが新規とさせていただきました。 子ども一時預かり事業につきましては、i-ビルができて平成24年度から始めた事業でありますので、今回新たに記載させていただ</p>

	きました。
松村委員	81ページにあります、骨密度測定についてですが、女性だけが対象ですか？
事務局（副主監）	女性だけを対象に行っております。
松村委員	女性対象というのは何か意図があるのでしょうか。男性にも必要なことだと思います。
事務局（副主監）	18歳から39歳までの女性を対象とした骨密度測定は、出産がある関係で、出産にあたってはまず健康が第一というので、女性を対象にしているということです。男性対象につきましては、担当課に伝えさせていただきます。
松村委員	90ページ、外国人に対する配慮として、多言語相談シートを作成とありますが、多言語とはどこの言語ですか。
子育て支援課	多言語相談シートは、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の5つです。
松村委員	中国語には2種類ありますので、配慮していただきたいと思います。
渋谷委員	95ページの成果指標の「DV被害者へのワンストップ支援に対応する支援事業数」が、現状が12事業で、目標も12事業とそのままになっているのは、なにか意図があるのでしょうか。
子育て支援課	こちらの支援事業は平成23年度から行っております。今年で4年目となりますが、これ以上支援できる事業はないだろうということで設定しました。
松村委員	94ページの成果指標の「市民が感じる男女の地位の平等感」の目標数値をもう少しあげることにはできないでしょうか。
事務局（副主監）	この成果指標の目標数値につきましては、現状値が下がっている状況ですので、現行のままとさせていただきます。
藤浦委員	81ページの予防接種の内容に、「乳児の予防接種」とありますが、予防接種のなかには対象が1歳を超えるものもありますので、「乳幼児

事務局（副主監）	<p>の予防接種」ではないでしょうか。</p> <p>乳幼児に訂正させていただきます。</p>
佐々木会長	<p>新しい統計がでてきた場合、グラフを差し替えることにより、本文との整合性を確認していただきたいと思います。</p>
事務局（副主監）	<p>承知いたしました。</p>
川島委員	<p>健康やDVについては、なぜ男女共同参画計画に関係してくるのか、理由付けを記載していただきたいと思います。</p> <p>もう1点、55ページにあります、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに肯定的な人の割合については、個人的な考え方であって、個人の考えという部分に対し、行政がこういうものだとすることに違和感をもちますが、いかがでしょうか。</p>
事務局（副主監）	<p>個人の考え方の意識を男女共同参画社会に向けて向上させることを基本目標としているため、意識に関する指標としました。男女共同参画社会の実現に向けた観点で指標を設定しております。</p>
佐々木会長	<p>用語の表現を少し変えたほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>性別役割分業に対して肯定的かどうか、範囲が広がるようにしてはどうでしょうか。</p>
事務局（課長）	<p>従来からこの質問形式で推移をとっており、固定的な概念でとらえないという方向を目指しております。賛成、反対では固定的になってしまいますので、今後、聞き方の問題として検討させていただきます。</p> <p>また、健康とDVがどのように男女共同参画に関係しているかということにつきましては、資料5ページに記載してありますのでご確認いただきたいと思います。</p>
佐々木会長	<p>その他よろしいでしょうか。</p> <p>この計画案は、パブリック・コメントにかけて、その後に修正するかどうか懇話会で審議いただく予定です。</p> <p>修正等ご意見がありましたら、パブリック・コメントが終わるまでに事務局に文書で出していきたいと思います。</p> <p>これで議題については終わらせていただきます。</p> <p>事務局へお返しします。</p>

事務局（課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回の結果をうけまして、その後9月1日から30日の1か月間でパブリック・コメントを実施させていただく予定でございます。</p> <p>今日ご指摘をいただいて、修正を加える部分につきましては、資料を送付させていただきますのでご確認をお願いします。</p> <p>次回の懇話会は11月に開催する予定でございます。パブリック・コメントの結果を踏まえた最終的なご審議をお願いする予定ですので、よろしく願いいたします。なお、今後、計画書を作成する作業の中で、誤字・脱字などの内容に変更を伴わない字句の訂正や新しいデータとの差し替えなどを行う場合がありますので、あらかじめご了承くださいと思います。</p> <p>本日は熱心なご審議をありがとうございました。</p> <p>本日はこれにて閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p><u>会議終了（15：50）</u></p>
---------	--